



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
 TEL (0824) 64-1245
 FAX (0824) 64-1245
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
 http://mcrs.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
 三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 石田 光雄

幹事 / 大井 睦子

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム ガバナー補佐事前訪問/クラブ協議会

■次回例会日時 2020年8月24日 12:30~

■次回プログラム ゲスト講演/親睦委員会

市立三次中央病院 顧問 中西敏夫先生

●2020~21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン

出会いの扉を開き、新しい仲間と
 ロータリーをとことん楽しもう

■第1303回例会記録

●日時.....2020年8月3日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

■開会挨拶.....石田会長

純増3名、頑張りましょう

皆さんこんにちは。梅雨も明け暑い日が続くということですが、熱中症に気をつけてお過ごし下さい。

さてコロナの感染が凄いことになってきています。GO TOキャンペーンでの移動はもちろんのこと、お盆の帰省にも大きな影響がでます。楽しみにしておられた方は寂しい限りですが、現在の状況を考えると仕方ないでしょう。

広島県でも少しずつですが、感染が拡がっています。昨日、タクシーの依頼でこのような電話がありました。「39度の熱があります。しんどいので医療センターに行きたいと思えます。タクシーをお願いします。医療センターの方はタクシーを頼んで、OKなら来て下さいと言われました」と。タクシーにはアルコール消毒液・飛沫防止カーテンを設置して運転手はマスク着用していますが、今のこの時期、39度の熱があると聞いたら、まさか・もしやと疑いますよね。結局はお客様とお話して、救急車で運ばれてしまった。その方がどうだったかは、わかりませんが、十分に気をつけたいものです。

今月は「会員増強および拡大月間」です。今年度は3名の純増を目指しております、頑張りましょう。とは言うものの活動計画を作り始めたのは

1月・2月の頃、「中国で変な病気が流行り出したぞ、コウモリを食べたかららしい」と話しをしていた程度で、ここまで世界に影響を与え、ロータリーの活動を制限する伝染病になるとは思ってもいませ



んでした。ある程度の目安もあり3名でいきたいと思います。ある程度目安もあり3名でいきたいと思います。と杉谷委員長にお願いしましたが、今となると非常に厳しい数字になりつつあり、会員増強とともに退会防止が非常に重要な状況になってきたと思います。今月のガバナー月信の中で吉原パストガバナーが会員増強の必要性について書かれています。「クラブの活性化の最も必要なものは経験豊富なロータリアンの知恵を次世代へ受け渡すことです。新会員へのロータリー精神の伝承、事業の継続が出来てこそクラブの活性化の本質であると考えています。組織を生き生きと保つためには、常に新しい人材が必要なのです。その中で会員増強の「強」の部分すなわちロータリアン個々の心の中に「魂」を入れ、組織の改質強化を図り退会防止につなげるよう取り組んでいただきたい」と。あと11ヶ月、3名増強頑張りましょう。以上で会長挨拶を終わります。

■幹事報告.....大井幹事

- ロータリーの友8月号、ガバナー月信8月号を配布しております。ロータリーの友縦書き19ページに平田会員の投稿による当クラブ30周年記念事業の記事が掲載されております。またガバナー月信新会員のコーナーには宗平会員が掲載されております。
- 東城ロータリークラブより活動計画書が届いております。
- 次週8月10日は山の日で休会です。
- 次回8月17日はガバナー補佐事前訪問です。例会後にフォーラムのリハーサルを予定しております。理事役員、各委員長、入会3年未満の方はご出席ください。
- 本日19時より第2回理事役員会を開催します。

■出席報告.....野村委員長

●第1301回 7月20日

会員数	38名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	32名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	88.89%

- Make-up...
- 第1303回 本日の出席は38名中32名です。

■ロータリー情報委員会.....信国委員長

ロータリーの友8月号の読みどころを紹介いたします。

8月は会員増強および拡大月間です。横書き7ページに「私がロータリーを続ける理由、そしてその魅力」という特集が組まれております。



「若い人たちもやるもんじやわい」
 「幽霊会員もどき」が語る顔を合わせることの大切さ
 「ここが踏ん張りどころ」などロータリアンがロータリーの魅力を語っています。
 やはり大切なのは、思いやりということだと思います。
 ロータリーの友は世界のベストセラーです。皆さまぜひ熟読してください。そうすることが退会防止にも繋がるのではないかと思います。

■SAA.....中島清祐 SAA

●会員誕生日...佐々木君、元廣君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 石田君 会員増強卓話お願いします。(伏)
- 角谷君 やさしい妻への誕生日の花束、ありがとうございました。喜んでました。(伏)
- 佐々木君 八十路の旅への出発です。(伏)
- 元廣君 年に一度の誕生日、何年経っても妻の年に追いつけません。(伏)
- 平田君 昨夜のカープの快勝を祝って!
- 大前君 卓話頑張ってください。
- 杉谷君 担当例会です。卓話を受けていただき、ありがとうございます。
- 和田君 卓話させていただきます。ロータリーの友に30周年記念事業の記事が載っています。平田会員ありがとう。
- 野村君 卓話します。よろしくお願いします。
- 武口君 本日卓話をさせていただきます。よろしくお願いします。

ニコニコBOX本日出宝額 22,000円

今年度会員増強・選考・職業分類委員会は、私と竹野委員の二人です。本日は、会員増強・選考・職業分類委員会の担当例会です。今年度の増強目標につきましては、地区目標は会員数50名以下のクラブは純増1名となっていますが、当委員会では純増3名を目標といたしました。

会員増強については毎年度、取り組んで来られています。この情報をもとに、また新たな情報を増強委員会にいただきたいと考えます。

さて、本日の卓話ですが、昨年10月に入会されました武口会員。入会4年目となります野村会員、入会26年になります和田会員をお願いいたしました。

演題でお願いしたのは、「中央ロータリークラブへの思い」としてお願いいたしました。それでは、武口会員、野村会員、和田会員よろしく願いいたします。



<p>武口純也</p> <p>信用金庫 広島みどり信用金庫 十日市支店支店長 1972/2/19 生</p>	
--	--

皆さんこんにちは。
本年度会計を担当しています武口です。
今日は、会員増強によるプログラムとのことですが、会員増強に資する話題は私には難しいので、私自身がロータリークラブに入会する前と後でどのように感じているかをお話しさせていただこうと思います。
私は24年前の平成8年4月に広島みどり信用金庫へ入庫しました。本部、本店営業部、今はなくなってしまった口和支店、十日市支店、直前は高野支店に勤務しましたが、この間はロータリークラブに接する機会はなく、正直どんな団体なのかを考えたこともありませんでした。強いて言えば15年くらい前の十日市支店勤務の頃、当時の支店長さん方（私が在籍した間に3名変わりましたが）、どの支店長さんも定刻になると徽章を付け替え「ロータリー行ってくる」と足早に出かけて行かれました。何も知らない当時の私は「お食事会」くらいのイメージしか持っていませんでした。
時は流れ、昨年10月、私は十日市支店の支店長として着任し、前任者と交代する形で入会させていただきました。入会に際してはロータ

リークラブの活動や目的等について説明を受け、ロータリークラブが「社会生活において日々奉仕の理念を実践する集団」ということを知り、過去に自分が持っていた幼稚なイメージを恥ずかしく思いました。

また、現在は入会できたからこそそのメリットも感じております。その入会のメリットは、やはりより多くの方を知ることができることです。私は庄原市口和町の出身です。三次市に地縁・人縁はほぼありません。そんな中で入会することで例会や行事を通じて会員の皆さんと交流やつながりを持たせていただいていることは仕事上からも大きなメリットです。

他にも、異業種の方ばかりなので例会等を通じて業界情報も聞かせてもらえることもメリットです。最近では新型コロナウイルス感染症の各業界での影響等も教えていただき大変参考にさせてもらっています。また、専門性を持っている方がたくさんいらっしゃるの、仕事上で専門的な相談やお願い事等も気軽にさせてもらうことができ、入会できたことに大変感謝しております。

私の勝手な解釈なので間違っていたらご容赦いただければと思いますが、私が20代の頃に参加した信用金庫業界の外部研修で、講師の方から「経営者は孤独で、相談できる人間に限られる」と教わりました。皆さんは経営者の立場なので、当時の講師の方が正しければ、少なからず経営上で孤独を感じる立場にいらっしゃるのかもしれませんが、もしそうであれば、共通の価値観を持った経営者の方同士が、お酒の席も含め親交を深めることで「経営者としての孤独

感を和らげる」数少ない会合の一つがこのロータリークラブなのかもしれません。ちなみに、その研修で講師の方が指導されたのは「経営者に相談され、頼られる信用金庫人になれ」とのことでした。年齢を重ねても中々難しいですが、皆さんから相談いただけるように頑張っていきたいと思います。

最後に私が思う入会メリットというより、今後期待することは、スピーチが上手くなることです。会員のみなさんは卓話や挨拶の場で上手にユニークにしゃべられますが、私は緊張しやすく人前で話すことが苦手です。経験と場数を踏むことで私も少しでも上達できればと思っています。といいましても今後卓話等のお誘いがあまりないことを願っています。

長々とお話ししましたが、入会して1年も経たない私が諸先輩方を前にロータリークラブについてお話しするのは恥ずかしいのですが、一つだけ言えるのは私自身、仕事上もプライベートにおいてもロータリークラブに入会できてよかったということです。だからこそ職場のみんなにもロータリークラブに間違った印象を持たせないように、例会や行事での出来事、クラブ活動の中で経験した楽しみや私が感じる入会でのメリットを積極的に話し、併せて、これから経験するかもしれない辛い体験も伝えていこうと思っています。

また、今年度の目標である新規会員3名増員に対しても少しでも協力して行きたいと考えています。今後とも三次中央ロータリークラブの一員として何事も積極的にがんばりますので、よろしく願いいたします。

取り留めもない内容となりましたが、ご静聴ありがとうございました。

野村明弘

食品製造販売
(有)はなわ
代表取締役
1968/8/31 生



沖会員と上田会員の紹介で2016年7月に入会させていただき4年が経ちました。

ロータリークラブが奉仕団体である事は知っていましたが良く分からないまま入会させていただきました。

一昨年は親睦委員長をさせて頂きましたが、何も分からない中、皆さんに助けていただき何とか家族会も行うことが出来ましたが、中にはお願いしても断られ困ったことも有りました。また担当例会で卓話をお願いしても断られこれも困りました。

出来る事は協力していかないといけないと思います。

また、昨年は会計をさせていただきましたがここでは分からないことだらけでした。会計で困るのは、会費などが滞ると会計としては面倒な事が多いと思います。是非、ご理解頂き協力してもらえると助かります。

今年は、出席委員長なので石田会長のもと、精一杯頑張っていくので宜しくお願いします。

本日はコロナ発生からスーパーマーケットとしての対応をお話します。

コロナがクルーズ船で発生し日本での位置づけが変わり始めたときに自分はまだこないと思っていましたが1時間に1回カートや買い物カゴのアルコール殺菌を始めました。特に問題なくすごしていましたが意外にも三次でクラスター発生し翌日からしばらく対応に追われました。

従業員に濃厚接触者はいなかったのですが安全を考え4、5名休んでもらいました。従業員がいないと何も出来ない仕事だと痛感しました。

先ず、お店の自動ドアを開放し風通しを良くしたり、レジでのシールドの設置、足型でのレジ間隔の維持、従業員の健康管理、アルコール殺菌など、細かいことも含めればしばらくの間

対策に追われました。

また、マスクの手配、手袋、アルコールなどコロナ対策は本当にギリギリで間に合った状態でした。

売上もクラスター発生し三次東店で前年の80%台、サングリーンにいたっては50%台まで落ち込みました。三次の中は順調でも庄原、高野、吉舎、などの外部はほとんど三次にこない状態でした。元に戻るのに2ヶ月以上かかりました。ある日突然の変化への対応がいかに大変で難しいか分かりました。

そんな中、三次を元気にするのはロータリーの皆さんが元気でないといけないと思います。先週除菌水の説明をさせて頂きましたが少し時間を頂きお話させていただきます。

まず、持続性が6時間ある事。性能、ワンブッシュでせき200万回分。安全性に優れ、効果は消臭、花粉症、歯周病、などにも効果があります。

是非お使い頂きコロナ禍を健康に過ごしていきましょう。有難うございました。



▲野村会員からいただいた除菌水

和田ひとみ

写真機材販売
(株) カメラのシルバー
代表取締役
1949/12/19 生



入会させていただきましたのは26年前、45才でした。

推薦者は清永会員と今は退会していらっしゃいますがこの2710地区の女性会員第一号の清水保子さんでした。

ある日の事、清永会員がちょっと話があるという事で、店に呼ばれました。そこで、「ロータリークラブに入らんか?」というお話を頂きまして、「とんでもない!」。ところが、清永会員は、ロータリーの根幹は「職業奉仕」だと、おっしゃったのです。「職業奉仕」という言葉など聞いた事はありません。清永会員は、「あんたが、一生懸命仕事をしている、それが職業奉仕なんだ。地域の人にとって、なくてはならないと思っていただける仕事をしているそれでいいんだ!」と、言ってくれたんです。

滅多にお誉めいただける事はなかったのですが、私の仕事に対する向き合い方を誉めていただけたのが嬉しく心がなびいて行きました。ところが、毎週昼の一時間を例会の為に店を開けるといのはかなりのネックでした。でも、それがひとつのリズムになって、なんとかなるんですね。

クラブの事を十分に理解できないまま仲間に入れていただき、キンチョーしながらも過ごしていたある日、竹野会員から、(会長さんだったのかも知れませんが)「今度東城でロータリーの会合があるから、そこで話をしてくれ」と言われたんです。今思えば、IMだったんですね。そんな事も良くわかりませんでした。「いいですよ」と、軽く考え、返事をしました。ところがその返事をしたあとに、その同じ日に結婚式の撮影が入ったのです。当時息子は未だこちらに帰ってきていませんでしたし、私がやらなければやる人はいません。そこで、竹野さんに、「仕事が入ったので行けなくなりました」と、言ったんです。するといつもは優しい竹野さんが「ロータリーはそんなもんじゃない!」短い言葉で厳しくおっしゃられたのです。その言葉が忘れられず、

楽しいロータリーではありますが、常に言っていた事を忘れず、そのことが、今も活動のペースになっています。

さて、皆さんロータリー、楽しんでいますか？ 私にとってロータリーは週初めのほっと一息といった時間です。仕事とは違ったたくさんの出会いがありますし、仕事ではない色々な事に取り組む事も出来ます。今年度は雑誌会報の担当とし

て、『ひろい話』のタイトルで子どものときからの憧れであった、ジャーナリストのまねごとをさせていただけています。

最後に、入会の時、清永会員からこんなことを言われました。「ロータリアンは死ぬまでロータリアンだ！」と。これからも、元気で仕事に取り組み「死ぬまでロータリアン！」これに近づけるよう、生きて行きたいと思っています。

■ 点鐘

石田会長

会員ひろい話 (こぼれ話じゃないよ) vol.4 「お盆の思いで」

今年はいつもと違うお盆になったのではないのでしょうか。
会員の方のお話を伺うと、想像していたのとは違うお盆でした。

*平田博紀会員

8月15日、日本が戦争に負けた！ 小学校の4年生だった。いつものように友だち5～6人で八幡さんで遊んでいたら、近所のおばあさんが「おおごとじゃ～！日本が戦争に負けた～！」と駆け込んできた。真っ先に頭に浮かんだのは、鬼畜米英に殺される!!!という恐怖の念だった。戦慄が走ったのを思い出す。この日がお盆で先祖を敬うという心は薄れていた。昼ご飯は祖母、母、姉2人、妹、弟とし～んとして食べたのを思い出す。

*沖東洋治会員

商売人の家なんで、盆をゆっくり過ごすということにはなかった。それでも、本家筋だったので、盆の一週間前には墓所に行って親戚が灯笼を持ってきて押しやすいように筒を埋め準備していた。灯笼の中にじゃがいもの切ったのを入れ下から釘を刺し、ろうそくが押しやすいよう準備し、14日には家族で賑やかに参りました。祭りのようなものだった。

年末には皆んなでそばを食べるが盆は酒の配達で忙しく、むすび程度でその場しのぎの食事だった。

小学校5年生時、初めて自転車に一升瓶10本入の木箱を積み、ふらふらしながら押して、配達の手伝いをした事を思い出す。配達先に着いてサドルをガッチャンと入れた時、一人前になった気分だった。

*元廣 修会員

子どもの頃のお盆は殆どを母の実家で過ごした。高学年になると、朝は鰻の付け針をしに川に行き、捕れたのを蒲焼きにして食べた。昼は遊び回り、夜はタバコの葉の乾燥シーズンになるので火の見張り番をした。あまり寝ず、それでも将に自然児元気いっぱいだった。墓掃除は小学生の頃から高校を卒業するまでずっと続けた。



▲元廣少年 小学生(三和小)
自宅裏の古墳前



▲元廣少年 三和中1年冬
自宅前